



ひおき市議会だより

No. 59
2020年2月

ざかいのとびら



近い将来、母国の農業発展に尽くしたいです！（外国人技能実習生）

12月定例会 主な内容

令和2年2月号 第59号

- 幼児教育・保育の無償化へ（補正予算）…………… P2
- 一般質問 10人が明日の市政を議論！…………… P4
- 市政への貴重なご意見（市民と議会の意見交換会）…………… P13
- 気になるまちの調査レポート！（委員会調査・行政視察研修）…………… P14
- 特集・第4弾！令和の輝く女性（インタビュー）…………… P16

幼児教育

5億9226万2千円を追加

保育の無償化へ

総額304億9652万1千円

人事院勧告による市職員の給与等の一部改正

1612万5千円

国家公務員の給与改定を勧告し、市長・特別職等および市議会議員の期末手当の一部改正

52万9千円

マタニティボックス購入費

61万2千円



第2子以降の出産予定者が増えたため

ふるさと納税 増加見込みによる補正

2億5300万円



納税者へ送られる返礼品の増加

豪雨災害復旧工事費

1億443万円



伊集院中プール上の配水池など

◆一般会計 反対討論

国家公務員の給与改定を勧告し、市長・副市長・教育長ならびに、市議会議員の期末手当の支給割合を引き上げることについては、市民の理解を得られないと考え、賛成することはできない。

※賛成討論なし

伊集院総合運動公園内の施設改修工事

6893万円



外灯及び投球練習場等の改修

スポーツ合宿補助事業費

138万8千円

期待されるスポーツ合宿への補助

障害児通所給付費

3716万円

児童発達支援放課後等デイサービス利用料など

◆一般会計・特別会計(補正予算)賛否表

(予算額は、1万円未満切り捨て)

会計名	補正予算額	賛否表(○賛成/●反対)(漆島議長は、表決には参加しない)																	結果						
		桃北	佐多	是枝	富迫	重留	福元	山口(政)	山口(樹)	中村	留盛	橋口	黒田	下御領	山口(初)	西園	門松	坂口		並松	大園	田畑	池満	漆島	
一般会計補正予算	5億9226万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険	2億2212万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
公共下水道事業	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
農業集落排水事業	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民宿舎事業	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
健康交流館事業	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
温泉給湯事業	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険	△735万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療	22万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
水道事業会計(収益的支出)	26万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
水道事業会計(資本的支出)	1615万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

問 寄附採納での市道認定に基準はあるのか。
答 家の戸数や距離に関係はないが、道路の幅員が4m以上で、起点・終点のどちらかが市道に接し、袋小路の場合が転回場所が必要である。
問 近年、再発している松枯れに対する対策は。
答 航空防除と地上からの噴霧で対応。
大きな松には、5〜6年に1回樹幹注入を実施しているが、高額なため全てに施すことは困難である。
問 プール監視人の賃金減額補正の理由と、今後の改善計画は。
答 監視人の応募者がなく、市職員が対応したため不要となった。
現状を伝え、賃金改善の要望を行っている。

問 幼児教育・保育の無償化に際し、地方自治体負担に対する国の全額負担措置は、今年限りと聞くが今後の方向性は。
答 副食費や保育料が無償化されることにより、市の負担は一部軽減されるが、今後、国との負担割合に注視していきたい。
問 本年度、予算総額が300億円を超えた状況だ。災害等が頻発すれば心配であり、今後の財政運営にどう取り組むか伺う。
答 今年度は災害復旧費が11億円膨らんだことが大きな原因で、地方交付税の収入減や、国体整備事業費・箱物整備の事業費が大きい。今後は財政状況を注視し、歳入に見合った歳出の編成に努めていきたい。

一般質問

明日を論戦!

「より良い市政を目指し、10人が登壇」

一般質問とは

議員が市政運営全般について現状や方針などを問いつつ、政策提案を行い見解を求めるものです。

※文章については、質問者の責任において掲載しています。



西園典子 議員

質問 1 心の健康に読書や移動図書館の充実を

答弁 1 移動図書館を更新し各課連携で取り組む

問 さまざまな文化や情報の渦の中で、ゲームやスマートフォンなど、混沌とした不安定な今日である。

答 心の安定や健康、道しるべなどに、無料で好きな本と巡り合える図書館は、文化の殿堂であり、充実されるべきではないか。

答 読書は、心の栄養で、一冊の本で人生を開くという。すべての市民に、利用しやすい図書館であるよう工夫する。

問 夫したい。現在、市内の学校を巡回しているが、過疎や高齢化が進む中、誰でも公平に、市立図書館の恩恵が受けられる移動図書館の充実も必要では。

答 移動図書館ひよしまるを更新し、より多く積載できる車で地域に出向き、



移動図書館ひよしまるの充実を

質問 2 安定ヨウ素剤の分散ヨウ素剤の分散備蓄を

答弁 2 県と連携して緊急時対応を検討したい

問 安定ヨウ素剤の適切な使用は原発事故時、放射性物質ヨウ素から身を守る有効な方法である。

問 今後健診時等で、周知や広報を図りたい。

答 緊急時、適切に配布できるように、分散備蓄すべきではないか。

答 緊急時は安定ヨウ素剤を、職員が備蓄場所から持ち出し配布する。被ばくを防ぐ服用はタイミングが重要で、市民の意識向上も取り組まねばならない。



是枝みゆき 議員

質問 1 ふれあい教室の移転を

答弁 1 協議成立後に移転

問 国では、増える不登校児童生徒の支援策として、学校以外の学びの場を推進していく動きが出てきている。不登校児童生徒が通う、

問 伊集院地区館内の適応指導教室（ふれあい教室）は、通級生の増加により手狭になってきている。

答 複数の部屋を備えた教室の移転を考えないか。

答 ふれあい教室の利用者数が増えつつあるため、心が安定する部屋や、発達段階に応じた学習指導室を備えた場所の選定を行っている。

問 所有者との協議が成立後、移転を行う予定である。

問 中学校卒業後も問題を抱える子どものために、相談場所として活用し、自立のための支援を続けるべきだと思うがどうか。

答 小中学生が多いので、継続的な支援が必要な場合は、子ども支援センターや関係機関につないでいる。

問 学校の保健室等で学習する児童生徒の支援に、加配教員や支援員などを配置すべきでは。

答 保健室登校生徒等の専門の加配教員や、支援員を充てることは現段階では考えていない。

問 民間施設での受け入れは、今後どのように考えるか。

答 校長判断で、出席扱いできるフリースクールなども情報提供していきたい。

質問 2 食料備蓄品の分散と活用を

答弁 2 学校への分散備蓄と防災教育で試食体験を

問 備蓄食料品の現状は。

答 11月現在で2万7086食で、最も早く賞味期限を迎えるものは、令和4年3月である。

問 市内3カ所の給食センターに非常食の分散備蓄ができないか。

答 給食センターではなく、避難所となる各学校へ配置し、吹上中も検討する。



防災教育で市備蓄食料の試食を





山口 政夫 議員

質問 1 第5期交付金の算定・配分の考えを問う

答弁 1 事業費の圧縮と広域的事業にも取り組む

問 26地区ソフト事業、年間総額7千万円と高額であり、会計監査委員の監査を受けることが必要ではないか。

答 監査委員事務局と協議

し、今後、検討したい。
問 地域振興事業も11年間で、16億3800万円と合併特例債で投入してきた。借りたものは、必ず返済が必要である。

地域づくり推進基金は、約11億円あるが、1年でも長く事業展開するため、予算配分の改善をすべきではないか。

答 予算を先に決め、予算額に合わせた事業計画作成ではなく、事業計画及び前年度実績に基づき精査・審査を行い、交付額を算定するべきと考えるが。

答 総事業費の約1割程度を圧縮し、その財源を基に、地区を超えた広域的な

取り組みに対し希望を募り、事業効果を検証した上で交付する仕組みを検討する。

質問 2 第5期より職員再編地区館の在り方を問う

答弁 2 職員体制は現状、広域連携が必要と考える

問 集落支援員制度を、総務省自治行政局過疎対策室が平成21年度より実施している。

答 集落支援員制度を活用し、地区公民館職員を2人とし、1人は責任者となり、地区自治公民館長や、役員の自治会長さんと

連携を取り、地区公民館運営を行うよう見直さないか。

地区公民館の役割・位置づけは非常に重要である。地区公民館も設置12年を迎えるにあたり、さまざまな問題もある。

答 条例公民館の改正・廃止も含め、在り方について大胆な改革に取り組まないか。

答 自治会長の行政嘱託員制度も廃止となるなど自治会の課題もあり、地区や自治会長さんとも十分協議を進め、職員体制・条例公民館の在り方に取り組んでいきたい。



構造改善センターを兼ねる上市来地区公民館



黒田 澄子 議員

質問 1 高齢者肺炎球菌ワクチン未接種者への周知を

答弁 1 未接種者へはハガキで再周知を実施

問 高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種を、国は再度5年間の継続を決めたが今年度の接種状況はどうか。

3. 5%であり、成人式でのポスター掲示やアナウンスなど実施に向けて検討する。

問 国も進めるオプトアウト（受診しないものを選ぶ）方式の導入と、特定健診とがん検診の同時受診でがん検診の受診率向上をはからないか。

を守るあたにかい市政を実現できないか。

横浜市は2016年から資格証の発行をやめ、今年8月からは短期保険証交付もやめて全員に通常の保険証を交付している。

答 全国最大の政令市、横浜市が行ったことの意義は大変大きく、高く評価されると思うがどうか。

答 きちんと納税している方との公平性を図るため、現在の方式を継続し、税は財源の根幹をなす重要なものなので、制度の趣旨の理解と納税の協力をお願いする。

横浜市は財政も豊かなので、できるのだろう。

答 受診者目線でさらに利便性の向上に努めたい。

質問 2 補助金収支報告書の明瞭化を

答弁 2 担当課に指導する

質問 2 原子力災害避難訓練の実施計画は

答弁 2 避難受け入れの住民も含めた訓練を行う

問 2月9日に予定されている原子力防災訓練の計画・内容はどうか。

いくら訓練を重ねても、実際事故が起きた時に、実効性があるのかどうかは大変疑問だという声がある。原発を止めて廃炉にすることが、一番の安全対策と考えるがどうか。

答 県と関係市町で開催する原子力防災訓練は、第三者機関の評価、検証等が拡

問 民族伝統交付金を100%活用した27万円の草刈り機購入や、交付金での神社への水銀灯設置、また、青パト活動費の支出は適切か。

答 今後は、使途割合を考えての支出を説明をする。水銀灯設置は、神社での奉納の練習に使用するため

答 会計の確認・指導が足りなかった。

問 市から補助金を受けている団体が、他団体へ更なる補助ができるのか。

答 市補助金を財源とした再補助は、好ましくない。

高齢者を対象にした肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成します！

助成期間
平成31年4月1日～令和2年3月31日
接種費用の助成は今年度までです！
5年間は対象となりませんが、接種される方はこの機会をご利用ください。

自己負担金 接種費用8,000円のうち、 4,000円 ※生活保護受給者は無料	接種回数 1回
---	------------

受付方
予約が必要で、事前に健康診断を予約して接種してください。

接種をお忘れなく、令和2年3月31日までは4000円！



山口 初美 議員

質問 1 国保加入者全員に通常の保険証交付を

答弁 1 滞納の公平性を図る現在の方式を継続

問 国民健康保険税を滞納などの理由で、窓口負担が10割の資格証明書や、短期保険証が交付されている。全員に通常の保険証を交付し、医療を受ける受療権

今後も充分、県とも協議していきたい。

その他の質問
・学童保育の現状と課題
・稲わらやもみ殻の焼却禁止条例を制定しないか



昨年の原子力防災避難訓練の様子



重留 健朗 議員

質問 1 大雨警戒レベルの改善要望の結果は

答弁 1 国からの回答は特に得られていない

問 頻発する豪雨災害や土砂災害、南海トラフ地震に対応するため、専門性を有する外部人材の地域防災マネージャー（防災監・危機管理監）を採用できないか。

答 災害に関して長い経験で培った専門的な知識や経験を有するなど、災害対策に対して有為な人材であることは承知している。具体的な採用については、今後の採用計画等を勘案し、検討していきたいと考える。

問 避難所でのペットはどう対処するのか。

答 大勢の人が共同生活を送る避難所では、居住スペースでのペット同室避難は原則として禁止している。敷地内にペット専用スペースを確保することとしている。

避難所の状況に応じて配慮していきたいと考える。

質問 2 学校給食にオリーブオイルを

答弁 2 現在、学校給食に使用している

問 高齢者の方々に、オリーブオイルのスプーン一杯運動の推進はできないか。

答 オリーブオイルは、生活習慣病や認知症に対する効果が報告されており、高齢者に限らず、多くの方々が適量を飲用して頂くことで、市民の健康維持に寄与できると思っている。

今後、地区公民館などでの出前講座において、引

き続きオリーブオイルの有用性を啓発していきたい。

問 鹿児島オリーブに補助金を出していたが、その成果と効果はどうか。

答 現在、東市来に搾油所・事務所・店舗を整備。本年度オリーブの実4tが収穫され、約100kgの日置市産オリーブオイル（瓶詰めで820本）が搾油され、67kgの新漬けととも販売中である。

その他の質問
伊集院駅周辺にコインロッカーの設置について

善していくことが仕事だと考える。

他の自治体では、ボランティアを募る動きもあるが、仕組みづくりを考えられないか。

答 基本的には実行委員会等でスタッフを調達するべきだが、困難な地域もある。



桃北 勇一 議員

質問 1 吹上浜公園サッカー場の利用と収支の計画は

答弁 1 2000日稼働・収入90万円・支出は百数十万円

問 来年の夏に利用できる予定の吹上浜公園サッカー場だが、利用者の多くは日置市民なのか疑問である。

今年、施設利用促進協議会の体制も強化し、近隣市町村や各地の利用団体等へ精力的に取り組んでいるところである。

問 今後、人工芝張替にかかる費用の予測を。示せ。

答 約10年後に、芝の張替工事が必要である。1億円程度かかる予定だ

問 地域の事情等があり、協力要請に対し、責任感から職員が担うことは理解する。

しかし、担う仕事には、市職員でなくてもできる仕事もある。

職員は、イベントを第3者の目で見ても、計画や実行された内容を評価し、改

外部に委託するには多額の費用も発生する。

市職員がイベントを深く理解するためにも、直接参加するのは意味があり、必要だと考えている。

ボランティアに関して は、さまざまな場面があるが、必要に応じて検討したい。



佐多 申至 議員

質問 1 就農者の不安を解消すべく保障支援の整備を

答弁 1 今年度、災害や価格低迷等への保険制度を開始

問 日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下総合戦略）での、農林水産業の後継者・新規就業者の経過及び施策の成果は。

後継者・新規就業者認定

定者は3年間で27人である。補助支援期間終了後も関係機関と連携して、継続的に支援している。

問 ブランド認証の経過と施策の成果は。

答 現在44品目24事業所が認定されている。商工会・観光協会・農協・漁協等と連携して認定業務を行い、商品の認知度向上と販路拡大に努めている。

問 農作物作付面積の経過と施策の成果は。

答 総合戦略において、オリーブと^{*}ミシマサイコ（薬用作物）を位置づけている。

問 公共施設管理計画において、保有面積が削減できないと維持管理コストの削減は厳しいと考えるが、今後どのような削減策を進めていくのか。

質問 2 公共施設の保有面積・コスト削減の状況は

答弁 2 3年間で面積1.2%、金額で3255万円減

現在、オリーブは16.4ha、ミシマサイコは2haとなっている。

茶・いちご・トマト・ネギ類・肉用牛も推進を図る。

問 指定管理制度を導入し、民間ノウハウを活用する取り組みが、市民へのサービス向上につながっているか。

答 施設所管課で業務報告書や事業報告書の確認、2ヶ月に1回の実地調査を行っている。

利用者アンケートなどモニタリングの実施をするこ



総合戦略として位置付けられるミシマサイコ



整備が進む吹上浜公園人工芝サッカー場



オリーブオイルのスプーン一杯運動を

条例 町のきまりが変わりました!

●日置市水道事業の設置のきまりが変わり、令和2年4月から下水道事業を公営企業に移行します。

●日置市子ども子育て支援法の適用事業が拡大されました。

●日置市特定教育・保育施設・特定地域型保育事業のきまりが変わりました。

●日置市臨時・非常勤職員の給与等のきまりが制定されたことに伴い、市職員のきまりも変わりました。

●市職員の不祥事により、市長・副市長・教育長の1月分の給与を減額することがきまりました。

指定管理

日置市観光案内所を指定管理者へ

指定管理者となる団体	一般社団法人日置市観光協会
指定の期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日
指定管理料	3年間で1100万4千円

【附帯意見】

観光案内所は観光客に対し、果たす役割は大きい。また、地場産品のPRや観光産業の発展に寄与することを目的とした施設であるが、自主事業の計画が無く、歳出総額に対する人件費が66%と3分の2を超える計画となっている。

非公募であるが一般公募も視野に検討を重ねる必要がある。

所管課と一緒に観光行政の一翼を担っていく覚悟を持って取り組んで頂きたい。

問 見直し内容のポイント
は、新しく小学校の英語活動が3・4年生に導入され、5・6年生の外国語授

答 弁 1 来年度へ向け職員研修を実施

質 問 1 令和2年4月1日学習指導要領の一部改正は

は、新しく小学校の英語活動が3・4年生に導入され、5・6年生の外国語授

タブレットなど、ICT活用
用のための備品配置計画や
職員研修は十分か。

問 学校の光回線を活かし
外国語活動に姉妹都市との
国際交流や英語の授業にテ

答 弁 2 テレビ電話システムを今後研究したい

質 問 2 遠隔授業にテレビ電話システムの導入を

の交流を深め、外国語や国際感覚を身に付けることは、未来を担う子どもたち
に大変価値があり、テレビ電話システムを活用した交流は大変有効であると考え



テレビ電話授業の様子



大園 貴文 議員

業時間数が、それぞれ70時間となる事である。
またプログラミング教育も始まることにより、学校の授業でのタブレットなどのICT活用は、今後さらに増えることが予想される。
以上のことから、小学校15校の英語講師の配置計画や

ながら、プログラミング教育の目的や児童生徒への指導の仕方など理解を深めさせ、完全実施に向けて適切な対応ができるよう職員の研修等を実施している。
備品のタブレットについては、年次的に地域ごとに導入している。

テレビ電話システムを導入すべきと考える。
急速に変化する予測不能な社会に於いて、確かな学力と生きる力を育むうえで、言語能力の確実な育成を図るべきと考えるがどうか。
児童生徒が、友好都市であるマレーシアの人々と



問 4地域ごとの外国人の住民登録者数はどうか。
答 11月末の住民登録状況は、男167人・女133人の合計300人で、伊集院158人・東市来72人・

答 弁 1 市での教室設置は考えていない

質 問 1 外国人の日本語教室を開催できないか

民間企業（建設・食品・介護）の人手不足の状況は。産業別新規求人数をみると、医療・福祉・建設業・製造業が多くなっている。
問 就労外国人に頼らなければならぬ状況で、住みやすい環境が重要である。他市においても、日本語を学びたいというニーズがあるが、本市としても日本語教室を実施できないか。
答 日本語教室は、県内10

答 弁 2 非常勤職員の適正な任用・勤務条件の確保

質 問 2 会計年度任用職員制度の本市の考えは

自治体において、正規職員が削減される中で、非正規職員が増加している。会計年度任用職員制度は、非正規職員の役割や処遇が改善されるが本市の考えは。
答 地方公務員法の改正により、臨時・非常勤職員の適正な任用、勤務条件の確保が求められる。
問 市民対応の複雑化と非正規職員の増加は、正規職員
の多忙化、災害時の対応等、現場力低下につながっているが本市の考えを伺う。
答 業務の複雑化等により、職員の多忙化は承知しているが臨時・非常勤職



平古自治会での日本語教室の様子



坂口 洋之 議員

日吉46人・吹上24人である。
問 就労外国人の増加は人手不足が背景にあり、本市においても労働力不足は深刻である。
民間企業（建設・食品・介護）の人手不足の状況は。産業別新規求人数をみると、医療・福祉・建設業・製造業が多くなっている。
問 就労外国人に頼らなければならぬ状況で、住みやすい環境が重要である。他市においても、日本語を学びたいというニーズがあるが、本市としても日本語教室を実施できないか。
答 日本語教室は、県内10

市町で、国際交流協会や民間団体を中心に実施しており、本市では、平古自治会が独自で、居住する外国人を対象に月2回実施している。
問 就労外国人も定住外国人も参加する、共生・協働の市民提案型ワークショップも開催できないか。
答 ワークショップの要望はないが、県の動向や近隣自治体の取り組みを注視する。

自治体において、正規職員が削減される中で、非正規職員が増加している。会計年度任用職員制度は、非正規職員の役割や処遇が改善されるが本市の考えは。
答 地方公務員法の改正により、臨時・非常勤職員の適正な任用、勤務条件の確保が求められる。
問 市民対応の複雑化と非正規職員の増加は、正規職員
の多忙化、災害時の対応等、現場力低下につながっているが本市の考えを伺う。
答 業務の複雑化等により、職員の多忙化は承知しているが臨時・非常勤職

員を活用し、効果的な行政サービスを提供する。

議員を4班に分けて、市民の皆さんと語る会を開催しました。

市民と議会の意見交換会

令和元年11月11日～18日

意見交換団体

美山通行手形の会・吹上地域各種女性団体連絡協議会
美山小学校PTA・大田下高齢者若葉クラブ

- 美山通行手形の会**
 - ・美山バイパス開通後の、美山観光の在り方への提案を頂きたい。
 - ・共同窯跡が出てきたが、この利活用の方法について伺いたい。
 - ・美山窯元祭りの際の駐車場の確保をお願いしたい。
 - ・観光ガイドブックが古く、店も商工会会員しか掲載されていないため、新しく作成してほしい。
- 吹上地域各種女性団体連絡協議会**
 - ・合併前、吹上地域では出産祝い金が支給されていたが、市独自の取り組みはないか。
 - ・人工芝サッカー場が来年オープンするが、まちの活性化策について市はどう考えているか。
 - ・さつま湖の活用について、国道270号線側に入りを、美山にある空き家を行政で管理できないものか。
- 美山小学校PTA**
 - ・県道の交通量が多く、登下校の際に危険であるため、拡幅か歩道の設置をお願いしたい。
 - ・美山小学校のフェンスが壊れているので、早急に改修してほしい。
 - ・体育館裏のトイレが汲み取り式であるため、水洗トイレに改修してほしい。
 - ・子育て世代の入居のため、美山にある空き家を行政で管理できないものか。
- 大田下高齢者若葉クラブ**
 - ・認知症や引きこもり者の取り組みはどうか。
 - ・高齢者クラブに対しての議員の認識はどうか。
 - ・女性の出番をつくるべきだが、方策をどう考えるか。



グループワークでの活発な意見交換

請願 第1号 学校現場における教職員の業務改善及び教育予算拡充に係る意見書採択の要請について

<p>賛成 教育の機会均等を保証するための請願の内容のため賛成。 本市7校の複式学級については問題なく運営され、学校統合は地域・保護者の意見を聞いているため反対。</p> <p>反対 賛成3 反対18 で不採択</p>	<p>賛成 35人以下にすれば、教職員の教科指導や生徒指導などの負担が軽減されるので賛成。 本市の実態と教職員の努力等からして、学校教育現場の状況は教職員だけの問題ではないと考えるので反対。</p> <p>賛成 賛成4 反対17 で不採択</p>	<p>賛成 OECD諸国並みの豊かな教育をめざし複雑化する児童、生徒の実態、教職員の多忙化解消を図るため、35人以下学級を推進すること。</p> <p>反対 学校施設、教材、図書、安全対策などの子どもたちの教育現場において自治体格差を生じさせないために、国の予算を拡充すること。</p> <p>全会一致で賛成 採択</p>	<p>賛成 離島、山間部の多い鹿児島県において教育の機会均等を保証するため、国の学級編成基準を改めて、複式学級の解消に向けて適切な措置を講ずること。 また、学校統合については、地域や保護者の意見を尊重して対処すること。</p>
---	---	--	--

議会改革調査特別委員会を設置

【主な協議項目】

- ・政務活動費について
- ・反問権について
- ・予算審査及び決算審査特別委員会について
- ・タブレット導入について
- ・議会に関する市民アンケートの実施について

議長を除く21人で協議し、決定したのものについては、市民の皆さまにお知らせいたします。

教職員の業務軽減と教育環境の整備に係る国の予算拡充に向けた意見書

〈趣旨・理由〉

学校現場において、多様化・複雑化する教職員の労働環境は激変し、長時間労働から体調悪化が懸念されるケースが増加しています。このことは、最近の教員希望者数の減少にも表れています。子供たちの豊かな未来を創るため、教職員が本来の職務に専念できる環境を一日も早く取り戻さなくてはなりません。現行の「校務支援システム」等の取り組みを更に進化させ、業務の改善・スリム化の実現には十分な財源が必要です。また、老朽化した学校施設の改築及び安全対策など、未来を担う子供たちの教育環境の整備は、国の重要施策の一つです。教育においては、すべての国民はひとしく、その能力に応ずる教育を受ける機会を与えられなければならないものであります。しかし、人口減少が止まらない地方自治体の財源確保は厳しく、確実に地域間格差が生まれています。こうした観点から、令和2年度政府予算編成において下記事項が実現するよう、強く要請いたします。

記

1 教職員の業務軽減策と教育環境整備のために、国の予算を拡充すること。
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。
令和元年12月20日
鹿児島県日置市議会議長 漆島政人

衆議院議長 大島 理森 様	財務大臣 麻生 太郎 様
参議院議長 山東 昭子 様	総務大臣 高市 早苗 様
内閣総理大臣 安倍 晋三 様	文部科学大臣 萩生田光一 様

地域住民の生の声を聴く特集記事 レポート記事に注目!(南関町・大津町)

●特集記事の掲載について
南関町では、生の声を聴く・私が考える南関町の未来として、住民の声を掲載していた。

大津町では、地元大学生による議会レポート・各委員会による地元団体との意見交換会として、学生や団体の声を特集記事として、連載に取り組んでいた。

●主な質疑
問 レイアウト構成や編集で意識している点は何か。
答 文字を大きめにし、余白を広く取るように工夫している。

問 特集記事の大学生によるレポートはどのように行っているのか。
答 尚綱(しやうこう)大学と広報編集委員会との間で、連携協定を結び交流を行っている。

問 紙面の最後に、料金受取り払いのご意見が書けるハガキの掲載内容は。
答 年2回、議会への提言や質問、感想等を寄せる事ができる。



特集記事について意見交換

【まとめ】
南関町では、デザイン構成をフリーペーパー調にレイアウト変更し、若い方が身近に感じるよう見せる工夫がなされていた。

大津町では、出版業者が編集委員会に同席し、レイアウト構成の助言を行うなど、連携を図って取り組んでいた。

本市もQRコードの利用や、特集記事の連載など、市民が視聴しやすい環境整備に取り組んでいきたい。

予算・決算審査特別委員会(小林市) 議会タブレットの導入(曾於市)

予算・決算審査特別委員会の調査
議案質疑後に一般会計を付託し、それぞれ所管の常任委員会を単位とする分科会で審査する。

●主な質疑
問 予算審査特別委員会等の概要は。
答 議場にて分科会(常任委員長)が報告・表決し、予算審査特別委員長(副議長)が最終本会議で委員長報告・採決する。

【まとめ】
予算・決算審査は、特別委員会へ付託し、常任委員会を単位とする分科会方式をとることにより、大きな委員会組織の変更をせずに分割付託を解消できる点が大いに参考になった。

タブレット導入の調査
議会20台、執行部40台の通信費など全額公費負担。操作研修も毎月、定期的に実施し、導入から1年が経過。



●主な質疑
問 委員会等での資料請求の共有はできるのか。
答 各課の紙資料をPDF化し、タブレットでの情報共有は可能である。

【まとめ】
タブレット導入は、操作研修など1年間実施し、導入していた。

試行期間を経てペーパーレスを実施し、多額の経費削減の効果が出ており、本市でも導入を急ぎたい。

災害備蓄品・安定ヨウ素剤の備蓄 観光地としての松林の活用(日置市内)

●災害備蓄品の備蓄
旧老人福祉センター・日新備蓄倉庫を調査

●安定ヨウ素剤の備蓄
日置市中央公民館を調査

●委員からの意見
・安定ヨウ素剤を含め備蓄品は、最低でも各支所に分散備蓄が必要である。
・安定ヨウ素剤の配布については、対象者25870人に対し4人の保健師は少なすぎる。
・乳幼児用のミルク・トイレ・プライベートテントの充実が必要である。

【まとめ】
一般災害の分散備蓄も進みつつあるが、備蓄品の安全管理や保管場所など再点検する必要がある。

自主防災組織の充実を始め、国・県との連携や交付金の有効活用を目指すべきである。



旧キャンプ村(クロスカントリーコース)

●吹上浜松林の調査
観光地としての可能性について、松林調査を行った。

●主な質疑
問 観光地事業について、県や国の補助金を受けられるのか。
答 県の補助事業もあるがハードルも高く、採択されないケースも多い。

問 総合計画の中で計画できないか。
答 今後、どうして行くべきか考えていきたい。

【まとめ】
先進地の成功事例を研究し、プロジェクトチームを立ち上げ、ランドデザインを策定すべきである。

水道事業の包括業務委託(荒尾市) 間伐材等による再生可能エネルギー(日田市)

水道事業包括業務委託の調査
多額な維持管理費や技術系職員の確保や育成が困難になり、官民連携による包括業務委託を導入した。

●主な質疑
問 管工事協同組合傘下の協力企業の状況は。
答 地元の荒尾市内の零細企業が中心である。

【まとめ】
包括業務委託を導入し、年間の業務量が見込まれるため、企業協力の経営安定につながっている。

本市でも、水道事業の包括業務委託を検討する時期に来ていると考える。

再生可能エネルギーの調査
間伐材や樹皮処理の活用策を検討し、木質バイオマス発電事業に取り組むことになり、市役所をはじめとする



先進的な水道事業の包括委託業務を学ぶ

●主な質疑
問 市内公共施設等、38力所への売電価格はどれくらいか。
答 売電価格は、未利用材使用が32円/kWh、一般木材使用が24円/kWhと決められている。

契約は、随意契約である。

【まとめ】
かごしま森林組合等の林業関係機関と連携し、今後、森林環境譲与税を活用した積極的な林業振興対策に取り組むべきと考える。

課長職となって7年目を迎えます。

7年前、初めての部課長等会議でドアを開けると、全員黒いスーツの男性管理職の方々がばかりで、とても、緊張したことを今でもはっきりと覚えています。

旧東市来町に保健師として入庁し、結婚・出産・育児を経験してきましたが、当時は子育てに関する制度（産休や育休制度）は不十分でした。



しかし、当時の町長が育児に関する支援環境を徐々に整えてくださり、厳しい中にも第1号として制度を利用させていただき、突き進むことができました。

これも、職場の同僚や先輩、家族、友人等の応援があったからこそです。

今では当然となりましたが、働き続ける女性職員が続いていることを嬉しく思います。

課長職としての仕事には難しさも感じますが、自己研鑽と共に、みんなでチームとして頑張れることへの感謝、やりがいには大きなものがあります。

今後、管理職になっていく女性職員には、市政に女性の視点を入れていく大事な役目もあります。

自身の積み上げてきた経験やスキルを基に、更に成長できる貴重なチャンスと捉え、積極的に頑張っていると思います。

令和2年第1回定例会(3月)会期日程(案)

- ◆ 2月25日(火) …… 開会・本会議(補正予算) → 26(水)、27(木)、28(金) …… 委員会審査
- ◆ 3月4日(水) …… 本会議(当初予算) → 5(木)、6(金)、9(月) …… 委員会審査
- ◆ 3月13日(金)、16(月)、18(水) …… 一般質問 ◆ 3月27日(金) …… 最終本会議、閉会

※日程は、都合により変更になる場合もありますので、ご了承ください。

第59号の表紙

私たち4人は、フィリピンから来た技能実習生です。

日吉町神之川の農園で、ネギ栽培の技能実習生として働いています。

日本の進んだ農業の生産技術を学び、帰国後は地元で農業の発展に尽くしたいです。

夏場の草刈り作業は暑くて大変で、蛇が多いのも苦手ですが、休日ほみんなで購入した歌を歌って楽しい時間を過ごしています。

日置市は食べ物がおいしく、触れ合う人が優しい暮らしやすい町です。仕事は大変ですが、そのような町の楽しい職場で働くことができ、感謝しています。



編集後記

令和2年を迎え、新たな気持ちでスタートしました。

人は、変わるものです。

いつも山登りを断っていた人が率先して声をかけたり、音楽が苦手だった人が、楽器の演奏を始めたりと、人生なかなか捨てたものではありません。

楽しいことを見つけて実行することは、人生を豊かにしてくれるかもしれません。

年を重ねるごとに、いつも付き合ってくれる友人たちのありがたさを感じています。

私の好きな言葉は、「自分が幸せな人は、人を幸せにできる人」という言葉です。

今年も多くの人と語らい、楽しいことを探しながら過ごせば幸せです。
(黒田)

〈発行責任者〉	漆島 政人
議 長	
〈編集責任〉	
広報編集委員会	
委員長	桃北 勇一
副委員長	重留 健朗
委員	黒田 澄子
委員	橋口 正人
委員	是枝みゆき
委員	佐多 申至